

## 沖縄腎フォーラム



沖縄腎フォーラム 幹事 吉原 邦男  
(豆の木クリニック)

“Medicine, a life long study”といわれる。日本医師会の生涯教育制度が施行されて久しい。また各学会では認定医制度を設け、単位取得のため講演会、研修会を開催している。県内にも中央より高名な先生がみえて、種々の講演会が催され、最新の知見が紹介されたりする。また、県内でも各地区医師会の月例会を始め、各研修会、同好会の例会が活発に活動している。当然のことながら初期研修プログラムが最も重要であるが、その後の専門研修プログラム及び生涯研修プログラムも又、重要である。

その中で、本会（沖縄腎フォーラム）の起源は1982年（昭和57年）11月10日に遡る。本会の前半は文献紹介で後半は症例検討会で構成されている。その時その抄読会の担当者、年月日、文献のタイトル、著者名、雑誌名、内容要旨がノートに記載されている。会の名称は暫くしてから命名された。

早いもので25年を迎えようとしている。本会は、当初、専門家の集まりではなく、腎透析療法に従事する臨床家の集まりとしてスタートした。出身地、卒業大学、卒業年度、勤務病院それぞれ違う同業者同士が毎月1回2時間程度集まり、その日の担当者によって、興味ある論文もしくは実際の臨床と関連のある論文が紹介される。単語明瞭、意味不明瞭で、まったくの英文和訳に終わったこともあった。しかし、徐々に広大なNephrologyの領域でオリエンテーションがついてきた。広さと深さがなんとなくわかるようになってきた。後半では、各施設からの症例が紹介され、臨床上の問題点が話題となった。各自の考え方が披露された後、討論を経て結論へと導かれる。この得難いメンバー

の組み合わせが、味わい深い雰囲気を作り、帰路、余韻に浸ることもしばしばである。メンバーが力をつけてくると自然の流れのように一人、又一人と独立していった。

メンバーを紹介すると、まず、最初に安立医院（安里 公）が中部で透析施設を開設した。県立病院とも連携し、中部地区における腎不全治療に多大な貢献をしている。

次におおうらクリニック（大浦 孝）は那覇市小祿で透析施設を開設した。那覇市の透析過疎地帯だったので、浦添に通院透析していた患者が喜んでくれた。また、空港に近いので、旅行透析にも力を入れている。リウマチ・膠原病の治療対策にも専念している。

豆の木クリニック（吉原 邦男）は糸満のニュータウンで透析施設を開設した。近隣の病院と連携し、南部地区における腎不全治療対策に熱心である。

安木内科（仲宗根 安樹）は那覇市新都心近郊で透析施設を開設した。近隣の総合病院とも連携し、新都心の診療圏を相互補完することとなった。

首里城下町クリニック（田名 毅）も首里近郊で透析施設を開設した。琉大病院とも連携し、人口密集地帯の診療圏で慢性疾患の予防、対策、治療に成果を上げている。

吉クリニック（吉 晋一郎）は南部の中心部で透析施設を開設した。人口増加及び透析者の増加に伴い、近隣透析施設の不足部分を補完することとなり、地元より大きな期待が寄せられている。

そして昨年、うえず内科クリニック（上江洲 良尚）が豊見城の新興住宅街で透析施設を開設

//////////////////// いきいきグループ紹介 //////////////////////

した。

このメンバーが中心となり、25年の歳月を経て、的確な文献が紹介され、当を得た症例がプレゼンテーションされる。会の司会は県立南部医療センター（腎臓内科）の和気 亨先生で、恒例の開催日にはスムーズに議事が進行される。議論は活発で、時に白熱する場面もある。既に25年前より病診連携は行われていた。現在では各施設共、地域に根差し、紛れもなく社会の一員となっている。沖縄の医療の一翼を担えるまでに成長した。

最近では、数施設の若い先生方が2,3名出席するようになった。特に琉大病院からは古波蔵健太郎先生の指導の元、研修医の発表がある。常連のメンバーでは沈滞しかねないので会の運営に腐心するところであるが、若いドクターの参加は、彼らの臨床の実力養成の場になると思われると共に、会に活気をもたらし、勢い討論も熱気を帯びてくる。願わくはこのフォーラムががじゅまる（榕樹）の毛根の如く、沖縄の土壌、風土、文化に適したシステムとして太く、そして深く根付く事を期待したい。

年間日程表：

- I 新年会（1月）
- II 新春特別講演会（2月）
- III 夏期セミナー（7月）
- IV 納涼会（8月）
- V 定例会
 

前期	3	4	5	6	月	1) 抄読会
後期	9	10	11	12	月	2) 症例検討会
						3) その他 (連絡事項)

場所：県立南部医療センター・

こども医療センター 二階講堂

日時：毎月第二火曜日 19：00～21：00

腎・透析・膠原病を専攻する先生方の参加を歓迎いたします。

事務局：県立南部医療センター・

こども医療センター

和気 亨（腎臓内科）

電話 098-888-0123

